

おやま 市議会だより



第265号

●主な内容

平成26年度一般会計予算総額597億円

議案とその内容……………②	一般会計予算歳入款別推移……………⑥
陳情……………②	一般会計予算歳出性質別推移……………⑥
人事案件・意見書……………③	市政一般質問……………⑦～⑪
審議結果……………③～④	議会日誌……………⑫
委員会報告……………④～⑦	議会報告会のお知らせ……………⑫
一般会計予算款別一覧……………⑤	行政視察報告……………⑫

平成 26 年 5 月 1 日号



なまいふるさと公園

2月

定例会のあらまし

平成26年2月19日～3月18日

平成26年第1回(2月)定例会は、2月19日～3月18日までの28日間の会期で開かれました。本定例会では、平成26年度一般会計・各特別会計予算案をはじめ、平成25年度一般会計・各特別会計補正予算案、条例の制定、一部改正案などについて審議しました。

2月19日、市長から市政一般および近況について報告がありました。続いて議案34件、報告2件が上程され、提案理由の説明を受けた後、人事案件1件を可決しました。

2月21日、24日、26日は、17人の議員が市政に対して一般質問を行いました。

26日は上程議案に対する質疑の後、各委員会への付託を行い、これを受けて、2月28日、3月3日～7日に各委員会がそれぞれ開かれ、審査を行いました。

3月18日には、各委員長報告が行われ、平成25年度一般会計補正予算案については、議員から修正案が提出されましたが否決し、原案のとおり可決しました。その他の議案32件も可決し、陳情3件については、それぞれ採択、不採択、継続審査としました。さらに一般会計補正予算案1件と議員提出の意見書案2件が追加上程され、これらも可決し、定例会を閉会しました。

主な議案

2月定例会で議決した市長提出議案の中から、主なものをお知らせします。

◆平成26年度小山市一般会計予算

予算総額は、前年度比1.2%増の597億5千万円。主な事業として、市民の生命・財産を守り、地域の安全・安心な暮らしのための地域防災強化事業、小山市消防署絹分遣所建設事業、農村地域防災減災事業など。健康づくりや子育て支援、保健・医療・福祉対策充実のための緑の健康づくりの森整備事業、保育所施設整備補助金など。高齢者・障がい者がいきいき

と生活できる環境整備のための、生き生き高齢者育成支援推進計画策定事業、障がい児通所支援費など。自然とふれあうまちづくりのための、ラムサール条約湿地登録渡良瀬遊水地の賢明な活用推進事業など。環境・エネルギー対策などの地球にやさしいくらしづくりのための、太陽光発電システム設置事業、菜の花・バイオマスエネルギー利活用事業など。産業・都市・教育

基盤整備による「人と企業を呼び込む施策」推進のための工業開発推進事業、小中一貫校推進モデル事業など。地域

住民の利便性向上および地域コミュニティ活性化のための、桑地区中心施設整備事業、大谷地区中心施設整備事業など。地域経済を支える商工農業の振興および雇用の創出、中小企業への金融支援のための、開運小山市共通商品券発行事業、グリーンツーリズム推進事業など。

◆平成26年度小山市特別会計予算(10会計)

各特別会計の予算総額は、国民健康保険168億8660万円、介護保険91億6020万円、後期高齢者医療13億9530万円、病院事業債管理事業9億9920万円、墓園やすらぎの森事業4300万円、与良川水系湛水防除事業4900万円、

農業集落排水処理事業6億3900万円、小山第四工業団地造成事業2億2100万円、公共用地先行取得事業1億1670万円、公共下水道事業48億2300万円。

◆おやまの地元の酒の普及促進に関する条例の制定——おやまの地元の酒の普及促進を図り、地産地消の促進および地域の活性化に寄与することを目的に制定する。

(内容)①目的に関する事項、②市の役割・事業者の役割・市民の協力に関する事項、③個人の嗜好等に対する配慮に関する事項を定める。

◆平成25年度小山市一般会計補正予算(第5号)——歳入歳

出それぞれ9億760万円の増額補正。2月14、15日の大雪により農業用施設や農作物に被害を受けた農家に対し、農業災害見舞金の支給や被害を受けた農業用施設および農作物の撤去、再建に要する費用の支援を行うために増額するもの。補正後の予算総額は、620億3112万9千円。

修正案

定例会最終日、石島政己議員ほか9名の議員から、議案第13号に対する修正案が提出されました。審議の結果、賛成少数で否決しました。

◆議案第13号——平成25年度小山市一般会計補正予算(第4号)に対する修正案

(趣旨)債務負担行為補正で限度額が7700万円から1億5800万円に増額変更となつた「あけぼの育所仮園舎整備事業」の削除を提案するもの。

陳情

2月定例会では、新たに受理した陳情1件、閉会中の継続審査となつていた陳情2件について審査しました。その結果、1件を採択、1件を不

採択、1 件を閉会中の継続審査としました。

新たに受理したもの

陳情 1 件

●TPP（環太平洋連携協定）交渉に関する陳情

〔提出者〕小山市神鳥谷 1-11-32

小山農業協同組合

代表理事組合長 高橋 良一

〔趣旨〕TPP 交渉は、昨年末

までの妥結を目指して進めら

れてきたが、シンガポールで

12 月に開催された閣僚会合で

も、各国の隔たりが埋まらず、

引き続き協議を続けていくこ

とになった。国会および自民

党による決議が、実質的な政

府方針になっており、今後も

現在の姿勢を貫くべきである。

また、国民に対する情報開示

も必要不可欠であるため、次

のことが必ず実現されるよう

に意見書を提出してほしい。

1. TPP 交渉において、衆

参農林水産委員会決議や自民

党決議を必ず実現すること。

2. TPP 交渉に関する国民

への情報開示を徹底すること。

▽審査結果 採択

継続審査に付されていたもの

陳情 2 件

●「ゆきとどいた教育」の前進

をもとめる陳情

▽審査結果 不採択

●『子宮頸がん検診対策の充

実』を促進し、HPV 予防ワ

クチン接種事業の一時中止を

求める意見書』提出に関する

陳情

▽審査結果 継続審査

人事案件

◆監査委員の選任

小山市大字雨ヶ谷 740 番地 3

高田 純子（再任）

昭和 35 年 3 月 26 日生

意見書

定例会最終日、閑良平議員

ほか 7 名の議員から 1 件、教

育経済常任委員会から 1 件の

意見書案が提出されました。

審議の結果、原案どおり可決

し、内閣総理大臣ほか関係大

臣に送付しました。

閑良平議員ほか 7 名提出

◆国民の祝日「山の日」の制

定を求める意見書

教育経済常任委員会提出

◆TPP（環太平洋連携協定）

交渉に関する意見書

平成 26 年第 1 回定例会（2 月）審議結果

議決結果

議案番号	議案名	議決結果	
予 算			
議案第 1 号	平成26年度小山市一般会計予算	原案可決	賛成多数
議案第 2 号	平成26年度小山市国民健康保険特別会計（事業勘定）予算	原案可決	賛成多数
議案第 3 号	平成26年度小山市介護保険特別会計予算	原案可決	全会一致
議案第 4 号	平成26年度小山市後期高齢者医療特別会計予算	原案可決	賛成多数
議案第 5 号	平成26年度小山市病院事業債管理事業特別会計予算	原案可決	全会一致
議案第 6 号	平成26年度小山市墓園やすらぎの森事業特別会計予算	原案可決	全会一致
議案第 7 号	平成26年度小山市与良川水系湛水防除事業特別会計予算	原案可決	全会一致
議案第 8 号	平成26年度小山市農業集落排水処理事業特別会計予算	原案可決	賛成多数
議案第 9 号	平成26年度小山市小山第四工業団地造成事業特別会計予算	原案可決	全会一致
議案第 10 号	平成26年度小山市公共用地先行取得事業特別会計予算	原案可決	全会一致
議案第 11 号	平成26年度小山市公共下水道事業特別会計予算	原案可決	全会一致
議案第 12 号	平成26年度小山市水道事業会計予算	原案可決	全会一致
議案第 13 号	平成25年度小山市一般会計補正予算（第4号）	原案可決	賛成多数
（議案第 13 号）	平成25年度小山市一般会計補正予算（第4号）【修正動議】	（否 決）	賛成少数
議案第 14 号	平成25年度小山市国民健康保険特別会計（事業勘定）補正予算（第2号）	原案可決	全会一致
議案第 15 号	平成25年度小山市介護保険特別会計補正予算（第3号）	原案可決	全会一致
議案第 16 号	平成25年度小山市後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）	原案可決	全会一致
議案第 17 号	平成25年度小山市小山第四工業団地造成事業特別会計補正予算（第2号）	原案可決	全会一致
議案第 18 号	平成25年度小山市公共下水道事業特別会計補正予算（第3号）	原案可決	全会一致
条 例			
議案第 19 号	おやまの地元の酒の普及促進に関する条例の制定について	原案可決	全会一致
議案第 20 号	新小山市民病院建設基金条例の制定について	原案可決	全会一致
議案第 21 号	小山市消防長及び消防署長の資格を定める条例の制定について	原案可決	全会一致
議案第 22 号	雨ヶ谷土地区画整理事業の換地処分に伴う関係条例の整理について	原案可決	全会一致
議案第 23 号	特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について	原案可決	全会一致
議案第 24 号	小山市長等の給与及び旅費に関する条例の一部改正について	原案可決	全会一致
議案第 25 号	小山市職員の給与に関する条例の一部改正について	原案可決	全会一致
議案第 26 号	小山市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の一部改正について	原案可決	賛成多数
議案第 27 号	小山市手数料条例の一部改正について	原案可決	全会一致
議案第 28 号	小山市社会教育委員の定数及び任期に関する条例の一部改正について	原案可決	全会一致
議案第 29 号	小山市障害者程度区分審査会の委員の定数等を定める条例の一部改正について	原案可決	全会一致
議案第 30 号	地方独立行政法人新小山市民病院に係る重要な財産を定める条例の一部改正について	原案可決	全会一致

議案番号	議案名	議決結果	
その他の議案			
議案第31号	指定金融機関の指定について	原案可決	全会一致
議案第32号	団体営土地改良事業の施行について	原案可決	全会一致
議案第33号	財産の取得について	原案可決	全会一致
議案第34号	監査委員の選任について	原案同意	全会一致
追加議案（予算） ※定例会最終日に追加された議案			
議案第35号	平成25年度小山市一般会計補正予算(第5号)	原案可決	全会一致
議員提出議案（意見書案）			
議第1号	国民の祝日「山の日」の制定を求める意見書案の提出について	原案可決	全会一致
議第2号	TPP(環太平洋連携協定)交渉に関する意見書案の提出について	原案可決	全会一致
請願・陳情			
陳情第25-1号	「ゆきとどいた教育」の前進をもとめる陳情	不採択	全会一致
陳情第25-7号	『子宮頸がん検診対策の充実』を促進し、HPV予防ワクチン接種事業の一時中止を求める意見書」提出に関する陳情	継続審査	全会一致
陳情第26-1号	TPP(環太平洋連携協定)交渉に関する陳情	採 択	全会一致

賛否一覧表（起立採決）

議案番号	議決結果	賛 対		大木元	大木英憲	福田幸平	植村一	野原勇一	荻部勉	荒井覚	篠崎佳之	小林英恵	森田晃吉	橋本守行	岡田裕	福田洋一	中屋大	安藤良子	山野井孝	大出ハマ	小川亘	荒川美代子	石川正雄	青木美智子	関良平	生井貞夫	塚原俊夫	角田良博	石島政己	野村広元	大山典男	山口忠保			
		賛成	反対																																
予 算																																			
議案第1号	原案可決	21:5		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案第2号	原案可決	26:1		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案第4号	原案可決	26:1		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案第8号	原案可決	26:1		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案第13号	原案可決	17:10		×	×	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
(議案第13号) 【修正動議】	(否 決)	10:17		○	○	×	×	○	○	×	×	×	×	×	×	×	○	×	○	×	×	×	○	○	×	×	○	×	○	○	○	○	○	○	
条 例																																			
議案第26号	原案可決	26:1		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※○=賛成、×=反対、退=退席、欠=欠席 ※議長(大山 典男)は採決に加わりません。

委員会審査から

議案は、本会議で議決される前に、原則として各委員会で慎重な審査を経ていきます。2月定例会の委員会審査の中から、主な質疑を紹介します。

予算審査



▼平成25年度小山市一般会計補正予算(第4号)

問 債務負担行為補正で変更計上されている、あけぼの保育所仮園舎整備事業の限度額を増額する理由と、仮園舎使用後の有効活用について、12月議会後の検討経緯は。

答 小山市土地利用対策委員会再検討し、障がい児の通所施設たんぼ園を移転し、利用することを決定しました。増額理由は、当初は短期利用を前提としていましたが、12月議会の附帯決議をふまえ、建築基準法等を考慮し、長期利用が可能となる仕様にするためです。

▼平成26年度小山市一般会計予算

問 個人市民税の普通徴収が落ち込んでいる反面、特別徴収が増えている要因は。

答 市では勤労者数が増えている、そのほとんどが給与所得者で特別徴収をしています。あわせて、給与所得者については平成26年度中に特別徴収で市県民税を徴収するという一斉運動中もあり、その成果もあって、特別徴収の伸びとして現れたと考えられます。

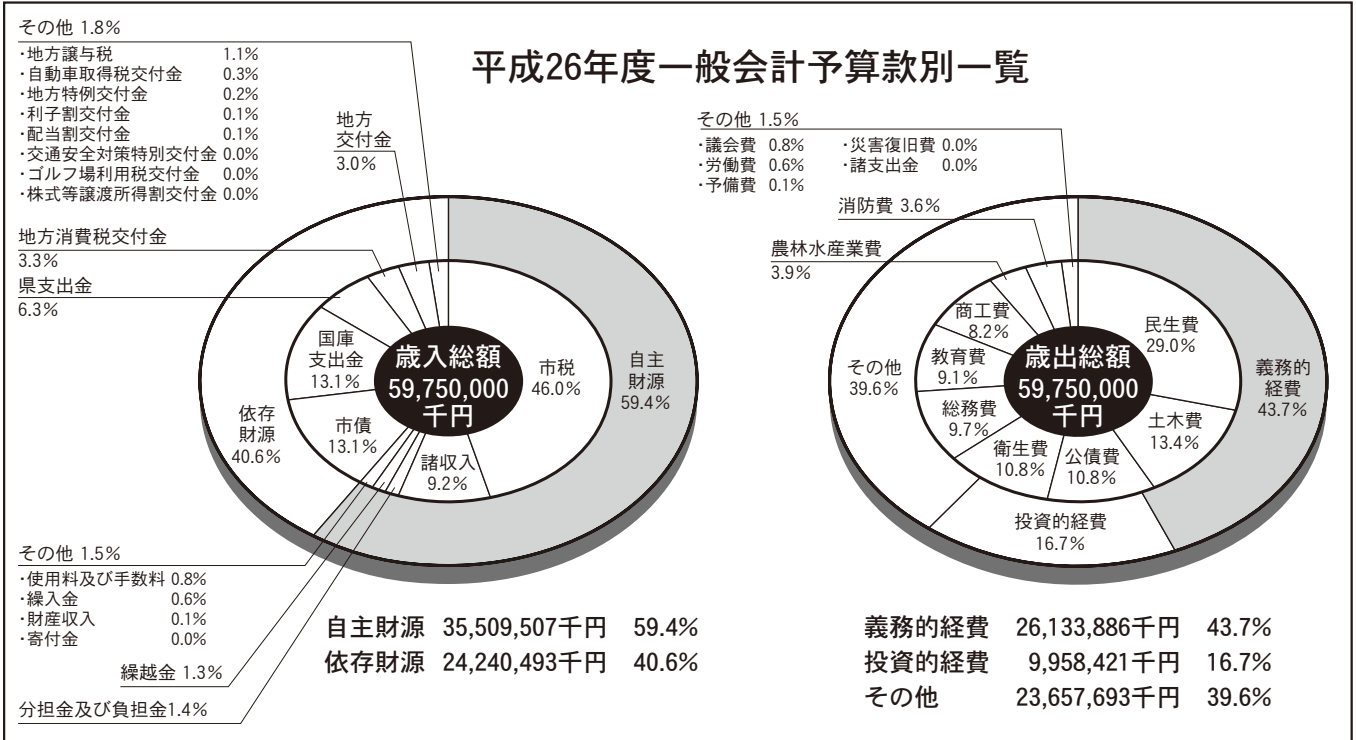
問 勤労者住宅資金融資預託金の減額理由と預託残額は。また、今後も貸付は実施するのか。

答 新規貸付が無かったため減額するものです。現在の貸付件数は181件で、その残

問 定住自立圏構想は小山市が先導的に事業を進めるべきではないか。

答 結城市、下野市、野木町の副市長で話し合いをいたしました。渡良瀬遊水地や結城紬など共通資源もある中で、引き続き呼びかけを行い、事業

平成26年度一般会計予算款別一覽



総務

を進めていきます。

問 各種イベントの同時開催や事業を統合する考えはあるか。

答 平成26年度は、いくつかのイベントを同時開催することにより経費を削減しつつ、集客効果を高めていきたいと考えています。

▼雨ヶ谷土地地区画整理事業の換地処分に伴う関係条例の整理について

問 雨ヶ谷町の町名を決定した経緯と町界変更の要望が出された場合の対応は。

答 町名は地元で組織された検討協議会において決定し、議会の議決を経て定めています。今後まちづくりが進み街区が構成されていく中で、町界の変更要望が出された場合は、地元において協議会を立ち上げていただき検討していくことを考えています。

▼小山市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の一部改正について

問 職員給与を減額した効果は。

答 平成25年度実施した国家公務員に準じた特例減額措置

民生消防

による実績見込み額は約2億8155万9千円であり、平成24年度に小山市独自に実施した条例改正による給与減額の実績額は約7100万円です。

▼平成26年度小山市国民健康保険特別会計(事業勘定)予算 特定健康診査・特定保健指導業務委託の委託先は。

答 平成26年度は、受診率を36%と見込み、約1万2千人を対象者と考えています。委託先として、集団検診は、県の保健衛生事業団、個別検診は、小山地区医師会と契約する予定です。

▼平成26年度小山市墓園やすらぎの森事業特別会計予算

問 現在の墓地の使用状況は。

答 平成25年度、第15墓所区の造成を行い、芝生墓地が2801基となり、そのうち2575基が購入されているため、現在226基空いている状況です。平成34年度までに3922基造る予定です。

▼特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について

問 母子自立支援員の支援内

教育経済

容は。

答 就労等の支援については、主にハローワーク等への紹介等を実施しています。また、経済的支援については、専門的知識を身につけていただき、経済的に自立してもらうための母子福祉資金や寡婦資金の貸付等を紹介する活動をしています。

▼平成26年度小山市農業集落排水処理事業特別会計予算

問 農業集落排水処理施設設置後の機能強化や改修など、計画的な維持管理の考えは。

答 施設の長期間使用による劣化、老朽化に対応するため、計画的な維持管理が必要であると認識しています。現在、市で策定中の公共施設長寿命化計画にも農業集落排水処理施設は含まれており、方向性が決まれば、施設のスツクマネジメント事業を利用するなど、維持管理計画を立てていきたいと考えています。

▼おやまの地元の酒の普及促進に関する条例の制定

問 県で制定された乾杯条例との関連は。

答 県の場合、地元の酒での

■一般会計予算歳入款別推移

(単位：千円・%)

款	平成 26 年度		平成 21 年度		平成 16 年度	
	予算額	構成比	予算額	構成比	予算額	構成比
自主財源	35,509,507	59.4	36,955,059	71.5	32,371,450	60.8
市税	27,468,168	46.0	28,042,120	54.2	23,441,369	44.1
分担金及び負担金	865,292	1.4	820,166	1.6	767,456	1.4
使用料及び手数料	467,190	0.8	521,604	1.0	477,705	0.9
財産収入	63,545	0.1	92,871	0.2	93,453	0.2
寄付金	10	0.0	5,008	0.0	7	0.0
繰入金	322,277	0.6	971,227	1.9	1,986,857	3.7
繰越金	800,000	1.3	900,000	1.8	900,000	1.7
諸収入	5,523,025	9.2	5,602,063	10.8	4,704,603	8.8
依存財源	24,240,493	40.6	14,744,941	28.5	20,828,550	39.2
地方譲与税	600,000	1.1	635,000	1.2	908,000	1.7
利子割交付金	50,000	0.1	125,000	0.2	210,000	0.4
配当割交付金	50,000	0.1	130,000	0.3	18,000	0.0
株式等譲渡所得割交付金	15,000	0.0	70,000	0.1	13,000	0.0
地方消費税交付金	1,963,000	3.3	1,630,000	3.2	1,690,000	3.2
ゴルフ場利用税交付金	30,000	0.0	37,422	0.1	40,446	0.1
自動車取得税交付金	180,000	0.3	280,000	0.5	404,000	0.8
地方特例交付金	130,000	0.2	315,000	0.6	720,000	1.4
地方交付税	1,770,000	3.0	200,000	0.4	1,180,000	2.2
交通安全対策特別交付金	30,000	0.0	42,000	0.1	38,000	0.1
国庫支出金	7,811,918	13.1	4,541,193	8.8	4,322,079	8.1
県支出金	3,775,675	6.3	2,629,326	5.1	2,550,925	4.8
市債	7,834,900	13.1	4,110,000	7.9	8,734,100	16.4
合計	59,750,000	100.0	51,700,000	100.0	53,200,000	100.0

※自主財源（市税、繰入金、繰越金、分担金及び負担金など）

※依存財源（国・県支出金、地方消費税交付金、地方譲与税、地方交付税、地方特例交付金など）

■一般会計予算歳出性質別推移

(単位：千円・%)

性質別	平成 26 年度		平成 21 年度		平成 16 年度	
	予算額	構成比	予算額	構成比	予算額	構成比
義務別経費	26,133,886	43.7	22,609,678	43.7	25,871,585	48.6
人件費	9,368,186	15.7	10,296,520	19.9	11,759,515	22.1
扶助費	10,269,528	17.2	7,049,927	13.6	5,610,475	10.5
公債費	6,496,172	10.8	5,263,231	10.2	8,501,595	16.0
投資的経費	9,958,421	16.7	7,649,198	14.8	7,890,373	14.9
普通建設事業	9,958,419	16.7	6,426,238	12.4	6,795,432	12.8
(補助事業)	5,481,835	9.2	2,705,860	5.2	2,492,940	4.7
(単独事業)	4,476,584	7.5	3,720,378	7.2	4,302,492	8.1
用地取得事業			1,222,955	2.4	1,094,936	2.1
災害復旧事業	2	0.0	5	0.0	5	0.0
その他（物件費など）	23,657,693	39.6	21,441,124	41.5	19,438,042	36.5
合計	59,750,000	100.0	51,700,000	100.0	53,200,000	100.0

※人件費（議員報酬、特別職給与、職員給、各種委員報酬、退職金など）

※扶助費（生活、教育、医療扶助など各種法令に基づき被扶助者に対して支給する費用、および市が単独で行っている各種扶助の支出額）

※公債費（市が借り入れた地方債の元利償還金および一時借入金利子の合算額。県からの借入金の返還額およびその利子も含む）

乾杯を推進するという条例ですが、小山市の条例では、乾杯だけではなく、乾杯等を推進するものです。具体的には市内の酒造会社には歴史的に貴重な蔵などがありますので、イベントの開催などで、活用を推進していくことも考えています。

問 条例の市の役割の中に「地元の酒の普及促進に必要な措置を講ずる」とあるが、具体的な内容は。

答 現在、おやまブランドに日本酒、焼酎、その他酒類が20品目認定されています。それらを含めた小山産の酒をPRしていくことを考えています。



建設水道

▼平成26年度小山市公共用地
先行取得事業特別会計予算
問 予算に計上し、取得する
調整池の場所、取得面積、取
得額は。

答 この調整池は、小山工業団地の小松製作所西側の雨ヶ谷まちづくり事業地内の水路が、近年のゲリラ豪雨により冠水するため、その対策とし

て整備するもので、横倉新田地区に2か所を予定しています。また、面積は、約3700㎡と、約2700㎡で、調整池の深さは約1m50cmを見込んでいます。取得額は、それぞれ約5700万円と約4300万円、平米単価は1万5500円程度と見込んでいます。

▼平成26年度小山市水道事業
会計予算

問 水質における残留塩素目標値はどの辺りにおいているのか。また、塩素と水質とのバランスは。

答 水道法では、水道の残留塩素は0.1ミリグラムパーリットルですが、安全上、0.2ミリグラムパーリットルを確保できるように残留塩素の管理をしています。残留塩素量は少ない方が、おいしい水を提供できますが、原水の状況により調整が必要です。例えば、降雨の後など、原水の濁度が高い場合は塩素の注入量を増やしています。また、浄水場が配水区域の北西にあり、間々田まで配水するというところで、管末の残留塩素も確認し、基準を満たしながらも最低限の塩素注入量で調整しているところと見込んでいます。

市政を問う

2月定例会市政一般質問

2月21日から26日にかけて、17人の議員が市政の諸問題や将来の展望などについて一般質問しました。

新年度一般会計予算

塚原俊夫

問 新年度一般会計予算は投資的経費が大幅増となっているが、資金計画、後年度負担に問題はないか。

企画財政部長 平成26年度の投資的経費は、新市民病院や緑の健康づくりの森整備事業、思川西部土地画整理事業、大谷東小学校普通教室等増築事業などにより、前年度に比べ20億1千万、25.3%増の99億6千万円となっています。これらの事業推進のための特定財源は、国の社会資本整備総合交付金など15億7千万円、前年度比3億6千万円、県補助金6億5千万円、前年度比2億3千万円とそれぞれ増加しています。その他の不足分の75%から90%を市債で補うこととしています。また、後年度負担については、中期財政収支見込みおよび市債管理

計画との整合性を保ちながら適正管理を行っています。

城南地区の小学校新設

問 城南地区に新設される小学校の建設スケジュールと資金計画は、どうなるか。また新設校の規模は。

教育部長 建設スケジュールは、平成26年度に基本構想を策定し、平成27年度に校舎の基本設計および実施設計を行い、平成28年度から校舎建設工事に着手し、平成30年度に完成を予定しています。これと並行し、平成28年度に屋内運動場およびプール設計を行い、平成29年度から30年度で建設工事を行います。加えて、外構工事、グラウンド整備も行い、全ての工事を平成30年度に完成させ、平成31年度開校を目指しています。この事業の総事業費は、概算で30億円と想定し、財源の内訳は国庫補助金が約10億円、市債15

億円、残り5億円が一般財源となります。また、開校時の規模は各学年4クラスで合計24クラスとなる見込みです。

空き家バンク設置

関 良平

問 空き家バンクの設置は。

副市長 空き家バンク事業については、平成26年度の事業導入に向けて、空き家等の問題について適正管理を促していくものと活用を図るものとの区分けを行う中で、総合的な対応策の検討を進めています。なお、当事業の実施に当たっては不動産関係団体の協力が欠かせないと考え、制度設計を進める段階からその支援、協力をいただき、本市の実情に合った制度としていきます。

城東交番の改築

問 城東交番の改築と、警察官立ち寄り所兼防犯交通ボランティアの詰所の設置は。

市民生活部長 小山警察署に城東交番の改築について確認したところ、現在は、改築予定はないとの回答でした。小山市として、安全安心なまちづくりを推進するため、城東交番の重要性を認識し、市民

の皆様意見を聞きながら、要望について検討していきます。また、JR小山駅東口は、平成24年6月に中央自由通路が開通したことから、利便性が向上し、利用人口が増え、ますますの発展が見込まれています。今後小山駅東口の安全安心なまちづくり推進を強化するため、警察と連携を図り警察官立ち寄り所兼防犯交通ボランティア団体が活用できる地域安全拠点施設を小山駅東口に整備していきます。



城東交番

消防団員への優遇事業

荒川美代子

問 消防団員は少ない手当中、地元を守る使命感で活動している。団員を優遇する事業を行うべきでは。

消防長 消防団員を確保するため、平成26年度から小山市消防団サポート事業を展開していきます。この事業は、市内の各事業所等に消防団活動

に対する支援と協力をお願いし、消防団員および家族の飲食、物品購入等に割引や特典付与などの優遇措置を設けていただくものです。現在、協力いただける各事業所等へ概要説明を行っており、26年6月の実施に向け準備を進めています。

子育て支援臨時給付金

問 消費税増税に伴い、子育て世帯への影響を緩和する「子育て支援臨時給付金」の内容は。

保健福祉部長 子育て世帯への臨時特例給付金は、児童手当支給対象児童1人につき1万円を支給するものですが、平成25年分の所得が一定の額を超えた方は除かれます。支給までの流れは、対象者に申請書を郵送し、返送していただく郵送による受付、資格の確認、支給決定、口座振込という手順になります。支給時期等については、決定次第、広報小山、ホームページ等で周知を図っていきます。

城山町三丁目第一地区再開発

山野井 孝

問 城山町三丁目第一地区市街地再開発事業をリーダーイン

市 政 一口メモ

※1 全国市区「高齢化対応度」調査
本格的な高齢社会を前に自治体がどのような対策を取っているか、高齢者にとって地域のハード・ソフト両面の環境を探るため、日本経済新聞社が初

めて実施した調査。「医療・介護」「生活支援・予防(健康づくり)」「高齢者の社会参加」などに点数を付けてランキング化したもの。小山市が総合首位で、東京都荒川区、新宿区が続いた。

グプロジェクトとして、どのように評価しているか。

市長 現在計画を進めている城山町二丁目第一地区、城山町三丁目第二地区の第2、第3の事業にも好影響をもたらしており、これらの地区の事業活動が積極的になっていきます。さらに第4の地区として城山町三丁目駅前地区で、土地所有者の発意による再開発事業立ち上げの新たな動きが開始されており、本事業の効果があらわれていると捉えています。今後、これらの街なか居住推進事業が立ち上がることに伴い、小山駅西口に定住が促進されることは、中心市街地の活性化にもつながることが期待できます。

思川西部地区土地区画整理事業

問 思川西部地区土地区画整理事業の現在までの進捗状況と手続きについて伺いたい。
都市整備部長 現在の地権者等の同意状況は、土地所有者

高齢化対応度調査

安藤良子

問 ※1 全国市区「高齢化対応度」調査で総合日本一となり、その中の医療・介護部門は22位だが、今後の対応策として、健康医療介護総合支援センターの役割は。

保健福祉部長 新小山市民病院を核とし、保健、医療、介護の総合的な相談・支援の拠点として整備する健康医療介護総合支援センターは、高齢者サポートセンターと訪問看護ステーションを同フロアに設置し、がんや要介護者の在宅医療や介護の相談等にワンストップで対応し、スムーズな連携を行います。地域包括ケアシステム推進の要となる医師会事務所も配置し、新型インフルエンザ感染症の外来協力機関や災害時救護施設としても大きな役割を担います。

英語教育

問 小中学校に外国人教師を直接雇用して、英語教育の充実を図っているが、現状と成果は。

教育長 小学校では英語の楽しさを味わえる授業を展開し、言葉や文化への関心を高め、続いて中学校で英語を使う実体験で、英語コミュニケーション

ーション能力の基礎を培います。また、休み時間等の交流でも大きな役割を果たしています。

市民生活部長 A L T (外国語指導助手) は C I R (国際交流員) を兼ねており、英会話講座のほか、まちなか交流センターで行われる英会話力フェでは、県外の方や外国人の参加も増えています。

新たな農業・農村政策

福田 洋一

問 平成26年度から新たな農業・農村政策が始まるが、新たな政策への小山市の対応について問う。

経済部長 農地中間管理機構関係は農地集積協力金の活用に加え、市の農地流動化奨励金を拡充し、農地集積を図ります。経営所得安定対策の見直し関係は、認定農業者への支援、担い手の確保と育成対策、集落営農の立ち上げや法人化の支援、新規就農者や後

継者支援を行います。水田フル活用と米政策の見直し関係は、ソバ、菜種、はと麦等の作物に対しての支援、麦類の担い手への支援、ふゆみずたんぼの取り組みへの助成を行います。^{※2}日本型直接支払制度関係は、土地改良区を活動組織の中心として、現行組織エリアの拡大と維持管理費の軽減を図ります。

まちづくり活動の現状

問 現在まちづくり活動が活発に行われているが、現状と今後の展望について問う。

都市整備部長 行政と地域がそれぞれの責任と役割のもと、現在では31団体が協働のまちづくり活動を行っています。今後地域特性を生かし、安全安心のまちづくりを推進し、地区間で情報交換や共有することで広域的な発展をも促し、出前講座の活用や地域特有の行事を通じ、地域コミュニティ

イ形成の場として活用できるよう、ハード、ソフト両面から支援をしていきます。

旧駅前広場の整備計画

森田 晃吉

問 駅東通り一丁目第一地区(旧駅前広場)の今後の整備計画における施設建築物の規模と内容は。

都市整備部長 施設建築物の規模としては、敷地面積が約2500㎡あるもので、その中で床面積約1万9700㎡、地下1階、地上21階、高さ約72mを予定しています。施設建築物の内容については、1階・2階を商業・業務施設、公共公益施設として整備し、3階以上を住宅として整備する予定です。また、地下には機械室・電気室等を整備する計画です。

学童保育クラブ指導員

問 学童保育クラブの指導員の健康診断に対する助成は今

後どうなるのか。

保健福祉部長 学童保育クラブにおいて指導員の果たす役割は重要であるため、指導員が健康で円滑に職務ができるよう労働環境を整える必要があります。小山市では、健康診断の実施により健康の保持増進を図る観点から、学童保育クラブ1か所あたり2名分まで、常勤の指導員に対し、健康診断受診に要する経費の一部を助成しています。しかし、常勤の指導員が3名以上いる学童保育クラブからの助成の要望が多いことから、新年度においては常勤の指導員全員が助成の対象となるよう予算を計上しています。

障がい者就労支援

小林 英恵

問 官民が一体となり、障がい者就労支援を目的とする関係機関とのネットワーク会議の設置はできないか。

保健福祉部長 障がい者就労支援ネットワーク会議については、関係団体が連携して定期的に情報交換を行うほか、障がい者雇用への理解と啓発を推進するため、市としても必要であると考えており、今後設置に向けた検討をしています。

きます。

コミュニティスクール

問 コミュニティスクール導入に向けた市の取組について。教育長 小山市では、平成25年から地域とともにある学校づくり検討委員会を立ち上げ、コミュニティスクールの有効性について検討してきました。この委員会を通じ、地域人材を学校運営に生かす視点や、地域に対してより開かれた学校を目指す視点などにおいて、コミュニティスクールは効果的な施策であることが確認されました。また、文部科学省の研究に関する委託事業を小山第一小、豊田北小、梁小において、平成25、26年度の2か年間で実施しています。現在は各学校で推進委員会を組織し、コミュニティスクールの中核をなす学校運営協議会制度を平成27年度に導入するための検討を行っています。

渡良瀬遊水地振興計画

篠崎 佳之

問 渡良瀬遊水地関連振興計画案の事業内容は。市長 渡良瀬遊水地の賢明な活用を実現するため、第一に、

政 市
一 口

※2 日本型直接支払制度

農業・農政政策の改革の一つ。26年度は予算措置実施、27年度から法律に基づき実施。農業・農村の有する多面的機能(国土の保全、自然環境の保全など)の維持・発揮のため、地域活動

や営農活動に対して支援する。多面的機能を支える活動を支援する「農地維持支払」、地域資源の質的向上を図る活動を支援する「資源向上支払」などにより補助する。

国土交通省が整備する浅い池・深い池、それらをつなぐ水路等を活用し、園路や木道等を整備し、自然体験の場を提供するエコミュージアムを整備します。第二に、ふゆみずたんぼを活用し、トキやコウノトリの餌となる小魚などが年中生息できる環境を整備するほか、自然放鳥されたトキやコウノトリが巣作りできる環境などを整備します。第三に、ふゆみずたんぼを活用した無農薬・無化学肥料による安全安心なラムサールふゆみずたんぼ米の生産拡大等を実施し地場産業の振興を推進します。

問々田地内の交差点改修

問 問々田地内の国道4号と県道・市道との2か所の交差点改修について

建設水道部長 国道4号と県道明野問々田線の交差点北側の市道4243号線の交差点は、状況を速やかに確認し、関係機関に円滑な通行が図れるように要望していきます。

また、県道と泉問々田線と市道230号線の交差点は、市政懇談会でも要望があることから、地元地権者の理解と協力を得て、円滑な通行ができ

るよう拡幅や右折レーン、歩道等の整備を検討するほか、国道4号の交差点の形状についても関係機関とよく協議したいと考えています。



国道4号・市道230号線交差点

財務諸表の活用

荻部 勉

問 小山市は民間の会計手法で財務諸表を作成、公表しているが、その目的、活用方法等はどうなものか。

企画財政部長 新公会計制度における財務諸表は、貸借対照表・行政コスト計算書・純資産変動計算書・資金収支計算書の4表です。一般会計および特別会計等を含めた市全体の姿を確認でき、長期的な負債の状況を把握する資料となります。貸借対照表は、将来的な資産や負債を示し、有形固定資産の老朽化の度合いや将来の社会資本整備の負担状況などを客観的な数字で確

市 政 一 口 メ モ

※3 ふゆみずたんぼ

稲刈り終了後、冬から春にかけて田んぼに水を貯めておくことで、稲の切り株やワラなどが水中で分解され、微生物や藻が発生する。それらを餌とするイトミミズなど

のほか、小魚などの生き物が集まり、豊かな生物環境ができあがる。それらの生物の活動で形成されるトロトロ層の抑草効果により、農薬や化学肥料に頼らない安全安心な農法が進められる。

婚活支援サポーター制度

認できます。行政コスト計算書では、行政サービスに伴うコストと公共サービス利用者が負担する使用料等の収入を把握することができ、経常的な活動に伴うコストや、直接的な受益者負担の状況を数値で知ることができます。

問 最近婚活支援のためのサポーター制度を実施している自治体があるようだが、栃木県や小山市の状況は。

保健福祉部長 茨城県では、出会いの相談や仲介等の活動をボランティアが行うマリッジサポーター制度があります。栃木県でも、とちぎ未来クラブが募集、運営を行う地域結核サポーターというボランティア制度があり、地域での結婚相談や、支援事業の情報提供等を行っています。小山市でも、民生委員32名が地域結婚サポーターとして登録し、婚活事業のPR等に努めています。

農畜産物のさらなる消費促進

野原 勇一

問 地産地消・食育に対して、農畜産物のさらなる消費促進と食育に対する考え方と新たな推進をどう考えるか。

市長 近年、食品の安全性に対する関心が高まっている中で、安心安全で新鮮な農畜産物を提供できるよう、生産者と消費者の距離を縮め、地元で生産したものを地元で消費するという地産地消の取り組みが求められています。小山市では、平成17年に第1期おやま地産地消・食育推進計画を策定するなど、生産者、消

健康格差縮小への取り組み

費者、家庭、学校、地域等が一体となり、地産地消、食育の推進活動に取り組んできました。今後も、ユネスコ無形文化遺産に登録された和食の推進を、第3期おやま地産地消・食育推進計画に盛り込むなど、より一層の促進を図っていきます。

問 健康格差の縮小に対する取り組み状況と、今後の地域におけるさらなる推進をどう考えて実施していくのか。

保健福祉部長 小山市では、「第2次健康都市おやまプラン21」を全地区で推進するため、各地区担当の保健師が、健康推進員と協働した保健活動を行っています。自治会から選出された健康推進員の活動は、地域の方々への直接的な働きかけにより、顔の見える関係性の中で情報やサービスが提供できるため、健康格差の是正に大きく貢献してい

ると考えられます。新たな取り組みとしては、生涯にわたる健康維持と歯と口腔の健康づくりが重要であることから、平成25年3月に小山市歯と口腔の健康づくり推進条例を制定し、現在は歯科保健基本計画の策定に着手しています。

個人質問 (質問順)

オープンデータ推進 山口忠保

問 地理空間・防災減災・統計・観光等の公共データを誰でも自由に使える形で公開する「オープンデータ」推進を。総務部長 市の保有する公共データを2次利用が可能な形で提供することで、行政の透明性と信頼性を高め、市民参画、官民協働の新たな情報戦略の基盤となり得ると考えます。環境整備としては、データ形式の標準化、利用のルール作り、個人情報保護への配慮が必要です。国や先進市の活用状況を参考に平成26年度から環境整備を行い、平成27年度から平成31年度までの次期小山市情報化基本計画に位置付け、総合的、戦略的に進めていきます。

絹分遣所設置の進捗 角田良博

問 絹地区の消防・救急体制強化のための拠点施設となる絹分遣所設置の進捗状況は。

消防長 小山市消防力適正配置検討委員会、利便性、環境性、安全性、経済性を条件として結論づけた4つの候補地のうち、最も評価の高い絹公民館南側の候補地の地権者と交渉しました。1月に用地買収に係る合意が図られたため、確認書の取り交わしを行い、平面測量調査、土地鑑定を進めています。今後は、平成26年度に用地買収を含め各種実施設計を行い、平成27年度には建設工事を、28年3月下旬には業務開始ができるよう事務を進めていきます。

たんぽぽ園 青木美智子

問 ことも発達支援センター(たんぽぽ園)に言語療法士等の専門員を配置し、機能の強化と放課後デイサービス、保育所等訪問事業の取り組みができないか。

保健福祉部長 たんぽぽ園では現在、正規職員2名、臨時職員3名の5名体制で、療育

等機能訓練事業を実施していますが、平成26年度には、正規職員3名、臨時職員4名の7名体制とし、これまでの事業に加え、障がい者相談支援事業所を立ち上げる予定とのことです。なお、平成27年度は、26年度と同様の体制ですが、28年度には、正規職員4名、臨時職員6名の10名体制で放課後等児童デイサービス事業および利用者の送迎事業等を実施していく方向で整備していきたいとのことです。

新市民病院跡地利用 石川正雄

問 新市民病院移転後の跡地の利用計画について伺う。

市長 緑の健康づくりの森基本構想・基本計画に基づき、現新市民病院の土地、建物を活用し、内科、整形外科等の外来診療や、需要の高い回復期リハビリテーション病院および介護老人保健施設を整備していきます。市としては、県と国との病床再編の協議が平成26年秋ごろを予定していることから、市内に不足している医療機能について県に働きかけていきます。病院移転後、速やかに外来診療が開始できることをプロポーザルの

ツールド・おやまの開催 小川 巨

問 ツールド・おやまの開催概要は。

市長 ツールド・おやまは、小山市が市制60周年を記念し、今年度予定している「スポーツ立市」を目指す一環として、豊かな自然と恵まれた環境を生かし、小山市の魅力を全国に発信することで、新たな観光資源の定着とスポーツのまちづくりを推進するものです。日光や那須高原で行われているタイムを競うレースではなく、安心安全に交通ルールを遵守しながらツーリングを楽しむ、自然や歴史、文化、地場産物等を堪能していただくものです。富士山やラムサール条約湿地登録された渡良瀬遊水地第二調節池の広大なパノラマビューを堪能する30キロコースと、筑波山や日光連

山などの雄大な景色や日本のため池百選に選ばれ、白鳥が飛来する大沼を堪能する60キロコースを想定していますが、今後、警察等と協議しながら進めていきます。

桑地区中心施設整備 荒井 覚

問 桑地区中心施設整備の進捗状況およびスケジュールは。

市民生活部長 施設の基本設計については、平成25年11月末に完成し、現在実施設計を行っており、25年度中に実施設計が完成する予定です。用地取得に際しては、土地収用法の規定に基づき、26年2月21日付けで事業認定を受けました。また、用地が市街化調整区域内の農振農用地に存することから農振除外の手続きを進めているところです。あわせて、用地関係者に向けた説明会を実施しており、25年度内に関係権利者と個別の用地交渉を開始する予定です。今後は、26年度に用地の取得を行い、その後、建設工事を26年10月から28年3月までの期間で予定しており、28年4月開設に向け事業を進めていきます。

議会日誌

- 〔1月〕
- ▽23日 執行部との定例懇談会
- ▽27日 議員説明会
- ▽29日 議会広報委員会／議会運営委員会
- 〔2月〕
- ▽12日 公共施設等整備調査特別委員会／議員説明会
- ▽13日 議会運営委員会／議会報告会運営委員会
- ▽19日 議員全員協議会／会派代表者会議
- ▽20日 大雪による農業被害状況現地調査
- ▽21日 議会広報委員会
- ▽24日 会派代表者会議
- ▽25日 議会運営委員会
- 〔1月〕
- ▽26日 公共施設等整備調査特別委員会
- 〔3月〕
- ▽28日 民生消防常任委員会
- ▽3日 教育経済常任委員会
- ▽4日 建設水道常任委員会
- ▽5日 総務常任委員会
- ▽6・7日 予算審査特別委員会
- ▽18日 議会運営委員会／公共施設等整備調査特別委員会
- ▽26日 小山駅周辺都市整備対策特別委員会
- ▽28日 那須烏山市4名ハ高齢化対策(すこやか長寿プラン2012)について

視察来訪

第4回 小山市議会 報告会について

小山市議会では、議員が地域に出向き議会活動状況を市民の皆様に報告・説明をし、意見交換を行う『議会報告会』を実施いたします。

議会報告会開催日程

日時	会場
5月20日(火) 午後6時30分～	小山東出張所
5月20日(火) 午後6時30分～	小山城南市民交流センター
5月20日(火) 午後6時30分～	桑公民館
5月21日(水) 午後6時30分～	間々田市民交流センター
5月21日(水) 午後6時30分～	豊田公民館
5月21日(水) 午後6時30分～	絹公民館
5月22日(木) 午後6時30分～	中央公民館
5月22日(木) 午後6時30分～	大谷公民館
5月22日(木) 午後6時30分～	中公民館

※お住まいの地域に関係なく、どの会場の報告会でもご参加いただけます。お気軽にお越しください。

次回定例会の予定

6月5日(木)	本会議(開会・議案上程)
6月9日(月)	本会議(一般質問)
6月10日(火)	本会議(一般質問)
6月11日(水)	本会議(一般質問)
6月12日(木)	本会議(一般質問・付託)
6月16日(月)	委員会
6月17日(火)	委員会
6月18日(水)	委員会
6月19日(木)	委員会
6月26日(木)	本会議(採決・閉会)

※正式な日程は、後日開催する議会運営委員会にて決定しますのでご了承ください。

平成26年第1回定例会の傍聴者数

2月定例会の傍聴者数は、本会議61人でした。

2月19日 = 5人	2月21日 = 4人
24日 = 38人	25日 = 4人
26日 = 10人	



委員会の行政視察

議会運営

2月4日(火)～6日(木)

2月4日から6日、議会運営委員会が大分県大分市、福岡県筑紫野市、佐賀県佐賀市において、議会運営についての行政視察を行いました。



大分市を視察する議会運営委員

議会広報

1月21日(火)

1月21日、議会広報委員会が、三重県亀山市において、広聴広報委員会の活動について、行政視察を行いました



亀山市を視察する議会広報委員



2月の大雪では、市内各地で農作物の被害が甚大な被害が出ました。市としても総額9億円を超える緊急の予算を計上し、対策に当たっているところです。被害にあわれました皆様にご心よりお見舞い申し上げます。

2月市議会定例会では、約600億円の予算案が提出され、その審査に当たりました。審査の結果については、原案を可決しました。

思川を彩った1600本を超えるオモイガワザクラが終わりを迎えると同時に、様々な木々が芽吹き始め、作物も青々しくなってきました。私達議員も気持ちを新たに、市民の皆様にご信頼される開かれた議会目指してまいります。

(森田)

